

上岡 ひとみ 展

Hitomi
UEOKA
EXHIBITION

対話の可能性 Possibility of Dialog

私は、偶然と必然を使い分けることとはどういうことなのかを表現しています。

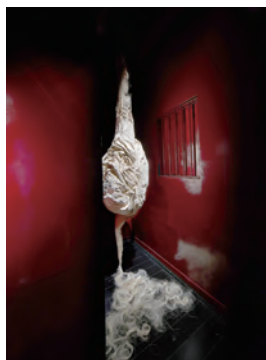
私達は意図しない方向に物事が向く時、それをあらゆる方法を産み出し制御しようと試みます。与えられた自然現象に抗う様な行為は知能が発達した人間にしかできない不思議な行為だと思います。不可解なことに対し分析し理解し、それを受け入れたり抗ったり、私達は日々対話の可能性を探る不思議な生き物だと思うのです。

作品の製作過程において大事にしているのは偶然によって生まれる現象に自身がどれだけ介入を試みるか、その程度を探ることです。紙の偶然性を使い直感的に凹凸をつけてゆく行為は言葉にできない自らの内面を表現するのに適した製作方法だと思います。材料として和紙の原料である楮も使いますが、特に身の回りにある雑草や稲藁を自作の紙漉きの道具で漉く方が、手を伸ばせば直ぐに材料が手に入り、直感的に作品を製作する自身の体質に合っていると感じているので、昨今は稲藁やとうもろこし等を漉いています。紙は偶然と必然によって形成されます。相手が自然物なので、水流をいくらコントロールしようとしても思い通りにならず、原料を煮た時々によって色が違ったり、天候に左右され乾燥時間が変化したり、時に作品から無数の芽が出てきたり、ある朝外に置いた作品を無数のスズメ達に食い散らかされていたりと、思い掛けないワクワクが起こります。そこで起こり得る化学反応を楽しんでいく行為は自身と不可思議なものとの「対話」だと思います。

作品は常にその経過過程であり、未完成形態でもあり完成形態であり、流動的であります。 上岡ひとみ



『Under Control』
楮、藍、鉄
2016
女子美術大学美術館所蔵
撮影 末正真礼生



『Ellipse』
楮、サイザル 2015
Gallery DA END / パリ



『Needle』
藁、蘇芳 2023
天王洲セントラルタワー・アートホール

略歴

- 2004 女子美術大学美術研究科美術課美術専攻立体アート学科 卒業
- 2006 女子美術大学大学院美術研究科美術課美術専攻立体アート学科 修了
- 2006-2010 株式会社スズキ デザイン部にてクレイモデラーとして従事
- 2011-2015 ドイツ・ベルリンにて活動
- 2014 フランス・パリにて活動
- 2026 現在 埼玉県にて活動 女子美術大学立体アート専攻 非常勤講師

主な個展

- 2004 上岡ひとみ展 (アートコテージパピルス / 神奈川)
- 2006 上岡ひとみ展 (ギャラリーゼン / 神奈川)
- 2013 Papier das Wein trinkt (Joachim Rong Gallery / ベルリン)
- 2013 MOUNTAIN FROW (Ausland / ベルリン)
- 2015 CEUX INFORMES (La Galcante / パリ)
- 2015 上岡ひとみ展 (Geoff Stern Art Space / ベルリン)
- 2024 上岡ひとみ展 -Melting Time- (ギャラリー東京ユマニテ bis / 東京)

主なグループ展

- 2013 JAPONNEEEZE MAYONEEEZE (Galerie Knoth & Krüger / ベルリン)
- 2013 NACHT UND NABEL (WEINHORDZ / ベルリン)
- 2014 Open Studio (Cité internationale des arts / パリ)
- 2015 5 different landscapes (EPICENTRO ART / ベルリン)
- 2015 Cabinet Da-END (Gallery DA END / パリ)
- 2015 Le papier souffre tout (Cité internationale universitaire de Paris / パリ)
- 2016 Amateras international paper art exhibition 2016 (ブルガリア・ソフィア)
- 2016 筑後アート往来 レジデンス成果展 (九州芸文館 / 福岡)
- 2018 おかえり筑後展 (九州芸文館 / 福岡)
- 2022 国際彫刻展 (女子美術大学 110 周年記念ホール / 東京)
- 2022 KOBO #4 (いりや画廊 / 東京)
- 2023 月とアイスペルク (アビスとドライブ / 鎌倉)
- 2023 PAPER AND FIBER (天王洲セントラルタワー・アートホール / 東京)
- 2025 女子美とパリ展 (女子美アートミュージアム / 神奈川)

2026年1月5日|月|—3月15日|日| 10:00—18:00 観覧無料

休館日 1月19日|月|、2月16日|月|—19日|木|、3月9日|月|・10日|火| ロゼシアター休館日に休館いたします。

特別講座 **アーティストトーク** 1月18日|日| 13:30—14:30 無料・申込不要

□ 最新情報は Website 等をご参照いただくか、お電話にてお問合せください。

主催 富士市 主管 一般社団法人富士芸術村



Website



Facebook



Instagram

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。2016年11月1日開館

- 交通 車の場合は、東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km
バスの場合は、JR 富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」で下車し 徒歩2分
新幹線 JR 新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車
* 発車駅によって到着するバス停が異なりますので お帰りの際はご注意ください。
- 駐車場 富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。
* ロゼシアター開催の公演により混雑場合があります。



ふじ・紙のアートミュージアム
Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町 1750 番地 富士市文化会館ロゼシアター1階 東側奥
TEL. 0545-32-6581 FAX. 0545-32-6582 <https://www.fuji-paperart.jp>